

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由		
家計動向 関連	良くなる	コンビニ（経営者）	・梅雨が明け、天候が回復することと、7～8月は地域のイベントも多いので客の動きが活発になるからである。		
		一般レストラン（経営者）	・客単価が上昇しており、予約客も多くなっているから良い方向に向かっている。		
(北関東)	やや良くなる	商店街（代表者）	・大河ドラマによる好影響を期待している。		
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・夏物のエアコン、冷蔵庫等に期待している。また、客の関心がある太陽光発電についても駆け込み等が期待できるとみている。		
		百貨店（営業担当）	・消費税増税の影響もそろそろ緩んできて、業態間、会社間の格差はあるものの、ボーナスが良かったり、賃金ベースアップがあったり、雰囲気的には持ち直してくるのではないかと期待している。		
		百貨店（店長）	・国内の景気のムードが落ちていないことに加えて、ボーナス増など消費に結び付く要素があるので、今後も月を追うごとに回復していくものと考えている。		
		百貨店（店長）	・消費税増税後の落ち込みが少なく、ボーナス増額、男性の購買意欲が上向いてきている。		
		スーパー（店長）	・消費税増税の影響が戻りつつあるのは確かだと感じるので、この先しばらくは良くなる。		
		スーパー（店長）	・ボーナス商戦により、更なる来客数の増加を見込んでいる。		
		コンビニ（経営者）	・夏にかけてイベントが多いので、やや良くなる。		
		コンビニ（経営者）	・当店最大のかきいれ時の夏がやってくる。売上、客数共に回復してきたので波に乗せたい。また、雨対策も大雪の時に取った対応が使えると思うので、天気もそれほど心配していない。ピークに合わせて対応していきたい。		
		コンビニ（経営者）	・コンビニ業界にとっては夏の時期が一番のピークになるということから、温度が上昇すると共に売上もある程度期待できるのではないかと考えている。		
		衣料品専門店（統括）	・消費税増税後初めての夏祭り、秋祭りが近付いている。現状では増税による客の反応はあまり悪くない。これから祭りに向けて消費があると思うが、祭りの気持ちはなんとか出てくるのではないかと考える。		
		家電量販店（営業担当）	・消費税増税後の反動減から緩やかに回復基調にある。		
		乗用車販売店（経営者）	・消費税増税から5～6か月たてば通常に戻ってくる。		
		乗用車販売店（統括）	・消費税増税の影響が薄れるので、やや良くなる。		
		自動車備品販売店（経営者）	・消費税増税前は確かに良かったが、増税後は今までにない不振である。現在の不振から考えると先行きは良くなってもらわないと困るので、やや良くなる。		
		住関連専門店（店長）	・高額商品も売れ始めた様子であり、改善に向かっているようである。		
		都市型ホテル（スタッフ）	・地元駅、またその周辺の駐車場や大型プロジェクトの建物の動きがあるので、それに伴って客がまた動いていくのではないかと感じている。		
		都市型ホテル（営業担当）	・消費税増税もあったが、そう落ち込まずに持ちこたえたということで、ここからは稼働が上がる時期でもあり、期待できると考えている。		
		旅行代理店（副支店長）	・行楽シーズンや夏休み等があり、国内旅行については個人や団体旅行の受注が前年の120%程度と好調である。しかしながら海外旅行については、受注だけみると前年を下回っており、その分国内旅行に回った感じがしている。全体的には少しではあるが需要が出てきている。		
		旅行代理店（営業担当）	・夏の旅行シーズンを迎えるため、2～3か月先はやや良くなる。		
		タクシー（役員）	・今後は夏の休暇等で富岡製糸場までのツアー等を企画して動向を探る。		
		遊園地（職員）	・夏にオープンする新規施設による集客や外国人観光客の増加により、今後も引き続き多くの客の来園を期待する。		
		設計事務所（所長）	・珍しく問い合わせが数件あったが、消費税増税の影響が一段落したのだろうか。これが本物の景気回復だとはまだ思えないが、もう少しこの状況が続くのもかもしれない。		
			変わらない	商店街（代表者）	・観光客が増える季節になってきたが、駅構内の売店のみが売れており、他の店ではあまり売れている様子は見当たらない。

一般小売店〔精肉〕 (経営者)	・梅雨が明け、からっとした天気が続くようになれば自然に客の足も軽くなってくると思うが、消費税増税によりいろいろな物が値上がりしていることが響いており、買い控えが多いので変わらない。
百貨店(販売促進担当)	・緩やかな回復が予想されるが、地方都市では夏期賞与の増額等の話題も少なく、可処分所得の増額は見込めないため、慎重な消費行動はしばらく継続する。
百貨店(販売促進担当)	・緩やかではあるものの消費税増税による反動減は回復基調にあるが、いまだ増税前の水準には戻りきっていない。反動減がいつまで続くのかは不透明だが、先行きも大きくは変わらない。
スーパー(経営者)	・食料品はインフレ傾向にはまだなっていない。
スーパー(総務担当)	・消費税増税後、景気は夏ごろには回復してくるかと思っていたが、冷夏予報もあり、売上も上がってきそうもないので、回復は遅れそうだと予想している。
スーパー(統括)	・消費者の収入が大きく増えたわけではないので、消費傾向、クラスターの変化をしっかりと捉えて対応していく必要がある。
スーパー(商品部担当)	・販売促進などの状況からも、客の購買意欲に変化が感じられない。
コンビニ(経営者)	・今月は雨が非常に多く、雷やひょうが降るなど天候が不安定なので、天気の合間をみての来店で、客がなかなか安心して店に来られない。今後も天候は落ち着かないので、あまり変わらない。
コンビニ(店長)	・今月は近隣で深夜まで営業している店が移転したため、それだけでなくも分散している深夜の来客数が、数では大したことではないが減少率で見るとかなりひどい数字となっており、この傾向は今後も続く見込みである。景気が良くなるようなことは全く期待できない。
コンビニ(店長)	・長期予報など見ると天候の影響は当然あると思うが、それ以外で特別大きく変わっていくところはない。時流の流れという形では特別あまり変化はないような気がする。
衣料品専門店(販売担当)	・今月の悪さがそのまま続くとは思いたくないというのが本音である。ボーナス効果で幾分客が出ているのも恐らく一過性のことなので、今月と同じような悪い状況が続くと予想して、それに対応していく形を取っていかないと、先行きはどうにもならないような感じである。
家電量販店(営業担当)	・白物家電は売れているが映像関連の動きが悪い。
乗用車販売店(経営者)	・地元の市長は常に市民のニーズをとらえ、市民生活の向上のための行政を実施してきたと思う。ここへきて法人市民税などの増収が見込まれ、市民サービス向上への期待ができると考えている。
乗用車販売店(経営者)	・自動車販売は7～8月は例年低調であるが、秋に目先の変わったニューモデルが出てくれば良くなることも考えられる。
乗用車販売店(営業担当)	・決まった地域の中で1台の車を販売するのに何店かの営業マンと競争になるケースがあるが、人間関係よりも金額面が大きく左右してしまうので、弱小企業はどんどん消えて行ってしまいそうな気配である。
乗用車販売店(販売担当)	・車の販売に関して、4月は本当に良くなかったが、5月の下旬ごろから徐々に上向いてきたと思っていたら、6月は失速してしまった。このまま失速した状態がしばらく続くのではないかとみている。
乗用車販売店(販売担当)	・今後2～3か月先だと、新しい消費税率にも慣れてきてユーザーも大体落ち着くのではないかと思うので、前月や今月よりは悪くはならない。ただし、良くなる要素もあまりないので、恐らくこのままの状態変わらず推移していくのではないか。
住関連専門店(経営者)	・地域経済も一服感が始めている。さらなる景気高揚の政策が出れば変化があるかもしれないが、いろいろな会合で経営者の話を聞くと、建築業界やメーカー等ではピークが過ぎたような意見が多い。
住関連専門店(仕入担当)	・天候については予測ができず、振れ幅の大きいのが近年の特徴である。天候要因はプラスにもマイナスにも働くが、消費税増税の影響は今後も継続し、当面の間、客数増は見込めない。
一般レストラン(経営者)	・どうしても一極集中で地方には都市型の経済効果が出ていない。
一般レストラン(経営者)	・地方の市町村単位の様子では、景気が上がる要因はほとんど見当たらない。消費税が上がったのにつられて消費者物価も上がっただけで、景気は良くなっていない。

一般レストラン（経営者）	・消費税増税の影響は思ったほど出ていないが、これから景気が良くなっていくという要素もない。人手不足が景気の足を引っ張ることも考えられる。
スナック（経営者）	・いくら改善の兆しは見えてきたが、まだ良くはない。もうひと踏ん張りである。
スナック（経営者）	・地方にはなかなかアベノミクス効果が波及してこない。変わらないを選んだが、これ以上悪くならないようにという意味での変わらないである。
観光型旅館（経営者）	・旅館業界全体は市場が減少傾向である。しかし、企業の業績回復などで法人利用の増加が期待できるため、プラスマイナスゼロで前年並みに落ち着くと予想している。
都市型ホテル（副支配人）	・7月後半から8月前半にかけて様々なイベントやスポーツ大会があり、繁忙が予想されるが、メインとなる個人客、ファミリー客の出足が相変わらず鈍い。総合的に判断すると、ほぼ前年並みとなりそうである。
旅行代理店（従業員）	・すぐに状況が良くなるとは考えにくい。
タクシー運転手	・今の状況は簡単には変わらない。
タクシー運転手	・消費税増税の影響があると思ったが、ほとんど変わらず平衡して推移している。
タクシー（経営者）	・6月の動きをみるとこの先も変わらない。
通信会社（経営者）	・個人消費が上向く材料が見当たらない。
通信会社（局長）	・今まで時間をかけてそう簡単に景気回復は実現しないものだとしりこまれているので、楽観する気になれない。
通信会社（総務担当）	・良くなる材料がない。
テーマパーク（職員）	・プラスになる材料が乏しく、景気が良くなるとは思えない。
観光名所（職員）	・国内の観光客は減少傾向であるが、アジア圏のインバウンド客がそれをカバーしているような状況である。
ゴルフ場（支配人）	・地元客が多く予約申込が遅いコースだが、前年より更に遅くなっているため、前年比での予約状況も良くない。
その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・良くなってきてはいると思うが、今一つ伸び悩んでいる感がある。
美容室（経営者）	・これから先、客を引き留め、単価を上げるよう努力しなければ競合店に負けてしまう。単価を上げるには何をしたらよいかを模索している状況である。
その他サービス[立体 駐車場]（従業員）	・テナントのホテル及び大型シネプレックスの単価等は横ばいで変わらない。当駐車場の予約状況についても同様で、総じて変わらない。
その他サービス[イベ ント企画]（職員）	・国外の情勢等が不安定なためである。
住宅販売会社（経営者）	・当地域では不動産はまだ安く買えるという風潮が強く、必ず値切られる。貸店舗等の賃料もまだ値切られる可能性が強く、空き家等も増えている状況である。
やや悪くなる	
商店街（代表者）	・中小零細企業で働く人にまで夏のボーナスが出せる企業が多くなれば活気が出てくる。
商店街（代表者）	・学校指定の物は高くても購入するが、一般の運動用品は消費税が5%から8%になったということは大変高くなったという印象を受けるので、今後は給料も上がらないのに出費が多いということで響いてくる。
一般小売店[家電] (経営者)	・消費者の購買意欲のなさに加え、天候の様子から季節商材の販売見込みもなく、これと言って消費者の購買意欲を誘う商品もないので、家電販売は厳しい状況である。
一般小売店[乳業] (経営者)	・地方では消費意欲好転の要因が見当たらない。
一般小売店[青果] (店長)	・毎月あまり良い状態が続いていないが、3か月先も景気が良くなるような材料は見当たらない。
家電量販店(店長)	・天気予報も冷夏ではなく、平年並みの暑さが来るようだが、夏場は指数の高いエアコン、冷蔵庫が動かないと厳しい状況である。
乗用車販売店(従業員)	・受注が増加せず、受注残が減少してきているのでやや悪くなる。
高級レストラン(店長)	・消費税増税の影響で年内一杯は厳しい状況が続く。
通信会社(経営者)	・LPガス販売においては円安によりただでさえ高止まりの仕入コストが、このところの中東情勢不安で更なる高騰が予想されている。デフレ脱却の政策で一部の企業ばかりが恩恵を受け、その他多くの中小零細企業と庶民は恩恵を受けるどころか悪くなる一方ではないだろうか。
通信会社(営業担当)	・夏季シーズン終了後に関しては、外国の影響を受け、食品、石油関連品などの物価上昇により、7、8月は反動減の可能性はある。

		競輪場（職員）	・ G 1 レースの全国発売の売上が近年の最低を記録したからである。
		美容室（経営者）	・ 旅行などに使われる分、夏休み中は売上が減少することが十分考えられる。周りの生活ぶりなどを見てみると、お金を十分持っていて余裕があるといった感じがしない。安価な美容店の数も増えすぎ頭打ちになっているようで、これからは自然淘汰されるような気がしている。最後には特徴のある店舗が残るのだろう。理美容業種を利用する消費人口は増えないので、閉鎖するところが出る可能性はある。
		設計事務所（経営者）	・ 完了物件が増え、少し仕事が落ち着いてきており、依頼数が減っているためである。
		住宅販売会社（従業員）	・ 全国的な天候不順などからレジャー関連の消費意欲が停滞気味であるためである。
		住宅販売会社（経営者）	・ 次の増税が決まりつつある中、買い控えが増え、売買案件の成約も減る見込みである。よって、現状からはやや悪くなる。
	悪くなる	一般小売店〔衣料〕（経営者）	・ 総会等では消費税の話がやはり中心であり、標準税率、軽減税率の話勉強した。観光客の買上も今一つ少ないような感じがしているので、先行き悪くなるのではないかとという予測をしている。
		百貨店（店長）	・ 消費税増税後、5月は多少回復した感があったが、6月に入ってから非常に厳しい。客単価も下がり、購買に対する慎重さを感じられる。
		衣料品専門店（経営者）	・ 消費税増税の影響を受けている。
		衣料品専門店（店長）	・ 上場企業や公務員等、一部の消費者は安定して収入が上向いているが、地方では収入上昇が見込めない人も多く、年金生活者も含め、すべての商品の価格が上がって生活しにくくなっているため、生活必需品以外の品物の動きは厳しい状態が続く。
		通信会社（経営者）	・ 数年続くこの状況から2～3か月で回復するはずもなく、今後も悪くなる一方である。東日本大震災から3年半、中央は被災した地方の状況をまったく理解していない。
		ゴルフ練習場（経営者）	・ 世界情勢が不安定で石油価格も上がっているため、消費財などの単価もじわじわ上昇傾向になる。
企業動向関連	良くなる	輸送用機械器具製造業（経営者）	・ 主要取引先である国内自動車完成メーカーの輸出が増加傾向である。
(北関東)	やや良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・ 太陽光発電の稼働が進み、第2、第3の工事も順調に進んでいるため、この先も良くなる。
		食料品製造業（営業統括）	・ 和食ブームによりヨーロッパや東南アジアへの輸出が徐々に伸びつつあり、今後も順調に消費されると見込んでいる。
		建設業（総務担当）	・ このままのペースで発注が進めば良くなっていく。
		金融業（調査担当）	・ 消費税増税後の反動減による落ち込み幅が緩和されてきているが、今後も同様の動きが続くとみられる。
		金融業（経営企画担当）	・ サービス業は観光シーズンに入っており、富士山の世界遺産登録による客足がしばらく続くものと思われる。製造業においては、アベノミクス効果が波及してくることへの期待が大きい。
		経営コンサルタント	・ 消費税増税後の需要面の調整はほぼ済んだとみられるので、この先は設備投資や個人消費における需要が本格的に立ち上がってくる。
		司法書士	・ 世界遺産景気だが、もう少し落ち着いた活気になってほしい。街に新たな資本が進出したいという話が出てきているので、少しは良くなるかと思っている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・ 新製品及び、夏場のクラフト体験教室等の展開に力を入れているが、動向は不透明である。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	・ 見通しは立てにくい状況にある。
		金属製品製造業（経営者）	・ 本当に先のことが分からず不安が一杯で困っている。得意先から飛び入りで仕事が来れば忙しくなると思って、期待はしている。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ 先月と同じように変化がない。減るという情報がないのを幸いとするしかない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 年末近くなって景気が何とか回復してくるかなという流れなので、どうみてもあと3か月くらい、秋ではまだ回復は厳しい。受注量もそこまでは回復しないように思う。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 今後3か月も夏季休暇、上期の在庫調整等が考えられるので、現状維持ができればと考えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・ 将来的には全く分からない。長期的に安定した仕事が確保できない状況は続く。
		電気機械器具製造業（営業担当）	・ 受注量の増加が期待できるが、内容はまだまだ厳しい状況が続いている。

	精密機械器具製造業 (総務担当)	・今後、大手取引先からの受注が見込まれており、わずかではあるが先行きに明るい動きが見えつつある。しかしながら、一時的なものか継続的なものかの判断は時期尚早、現状では景気が良くなるとは判断できないので変わらないと考えている。	
	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・取引先や競争相手、販売価格や受注価格等の動きもいろいろである。非常に忙しいところもあれば、暇なところもあり、中間の会社はあまりないが、格差がついて何とも言えない状況で、2、3か月先のことは全く分からない。	
	建設業(開発担当)	・公共工事はデフレ脱却政策の効果で前年比4%増の発注額があるが、民間工事は消費税増税前の駆け込み需要の反動で大幅減となっており、全体では民間工事の落ち込みで前年割れとなりそうである。今後の民間工事の発注に期待したい。	
	輸送業(営業担当)	・天候不順などで特に高原野菜、キャベツ等の育ちが遅れている状況だが、今後は前年並みに出荷量が見込まれそうである。しかしながら原油高もあり、燃料高止まりの状況で利益確保が厳しくなりそうである。	
	金融業(役員)	・製造業のうち自動車関連については数量的には上がっているが、原材料価格や電気料金、燃料費がかなり高騰しているため収益に悪影響が出ている。建設業についても工事量は多いが、人手が足りなかつたり資材価格が高騰していることから、利幅は非常に縮小しているということである。	
	新聞販売店[広告] (総務担当)	・大型店では戻っていると聞かすが、小規模店では低迷が続いているとの話である。経済団体の出席者の話を聞いても、賃上げや賞与増額は大手の話、まだそんな恩恵はない、とのことである。	
	社会保険労務士	・夏の賞与が増えれば良くなると思うが、中小企業の賞与に変化はなく、地方は変わらない。	
	その他サービス業[情報サービス] (経営者)	・引き合いも徐々に増えつつあるが、価格については抑えられている。	
やや悪くなる	一般機械器具製造業 (経営者)	・4月ごろ、秋口には回復すると予想していた油圧建機業界も数量増加の情報が入っておらず、売上を上げるのは厳しい状況にある。	
	通信業(経営者)	・原油価格の高騰が消費に影響しそうである。	
	不動産業(経営者)	・労働条件と報酬のバランスが取れないと感じている。	
	不動産業(管理担当)	・資材、燃料コストは今後も値上がりするであろうが、今のところ当社では価格に転嫁することが難しいので、良くはならない。	
	広告代理店(営業担当)	・地元の小売、外食などの業績は良くなる兆しがない。	
悪くなる	食品品製造業(製造担当)	・原油市場の影響で経費が上がりつつある。ただでさえ厳しい状況なので、ますます厳しくなる。資材メーカーからも更なる値上げの見積が届いたところである。	
	出版・印刷・同関連産業(経営者)	・相変わらず利益が出ず、資金繰りに四苦八苦している。	
	その他製造業[宝石・貴金属] (経営者)	・例年、夏に向かってジュエリーの需要が減退する。7~8月は卸、小売とも大きな展示会もなく、厳しい状況になる。	
雇用 関連 (北関東)	良くなる	人材派遣会社(経営者)	・こここのところ3か月先までは仕事がたくさん入っているのとでも良い。
	やや良くなる	職業安定所(職員)	・工業用機械等の受注が増加傾向にある。
		職業安定所(職員)	・消費税増税後にもかかわらず、新規求人数は引き続き増加し、逆に新規求職者は減少傾向が続いている。職種別、作業別にもよるが、総体的には人手不足感が漂っており、上向き加減である。
		職業安定所(職員)	・求人数が増加傾向にあり、逆に求職者は減少傾向にあるためである。
変わらない	人材派遣会社(経営者)	・夏休みを前にして夏物商材等の売上がどこまで伸びるかという期待は持っているものの、天候次第で計り知れないところがある。夏物に関しては小売商品、ギフト商品、衣料品が出そろったのか、これから出てくるのかまだ予測がつかないところである。雨が農作物を左右するため、食品品や惣菜関係も非常に不透明なところがある。石油製品は高くなっている。	
	人材派遣会社(支社長)	・採用意欲が非常に強いことや、採用費を承認する動きをはっきり実感している。もう紹介料などで揉めることも少なくなり、逆に人材がいるかいないかで商談になることが増えている。優秀な人材の確保に出遅れた企業と、そうでないこととの差が、逆にこの採用戦争を演出しているようにも見える。	
	求人情報誌製作会社 (経営者)	・多少景気回復が続いても、すぐには求人募集が出てこないため厳しい。	

	職業安定所（職員）	・景気の回復や上向きの兆しもあるが、コストダウン圧力により下請企業は収益改善につながっていない。また、消費税増税の影響により、製造業の求人数が減少していることは今後の景気の影響に対する懸念材料である。
	民間職業紹介機関（経営者）	・消費税増税を実感してきたためか、個人消費にややブレーキがかかり始めてきた気配がある。
	学校 [専門学校]（副校長）	・今年度高校生の内定率が98～99%になると予想されているくらい就職環境は良くなっているが、実際は慎重に採用試験を実施しているようで、求職者のスキル向上が必要不可欠であると感じている。
やや悪くなる	人材派遣会社（管理担当）	・冷夏のため、冷やし麺類の製造派遣が予想より伸びないと考えている。
	人材派遣会社（営業担当）	・昼食で利用する店、数店舗の消費税増税後の状況をみても、増税が消費に与える影響は大きく、景気が上向くとは到底考えられない。
悪くなる	-	-